

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学救急医療学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 7月

福島県立医科大学医学部救急医療学講座 大山 亜紗美

■ 研究課題名

一酸化炭素中毒患者における遅発性脳症発症予測因子を検討するための後ろ向き観察研究

■ 研究期間

2026年8月 ～ 2028年8月

■ 研究の目的・意義

一酸化炭素は、炭やガスなどが燃えるときに発生する無色・無臭の気体で、気づかないうちに体内に入り、命に関わる中毒を起こすことがあります。日本でも、一酸化炭素中毒は暖房器具の使用や炭の燃焼などにより毎年発生しており、密閉された室内では短時間で危険な濃度に達することがあります。

一酸化炭素中毒の症状として、頭痛やめまい、嘔吐、意識障害などがあります。多くは数日で症状が改善しますが、患者さんの中には、治療によりいったん症状がよくなったあとに、数日から数週間たってから物忘れ、注意力の低下、歩きにくさなどの症状が新たに出てくる場合があります。このような状態は「遅発性脳症」と呼ばれています。退院後に症状が出てしまうことで、後の生活や仕事に大きな影響が出る場合があります。

しかし、どの患者さんが遅発性脳症を起こすのかは、現在のところ十分にわかりません。

この研究では、一酸化炭素中毒で治療を受けた患者さんの診療情報（症状、検査結果、暴露状況など）を調べ、どのような特徴がある患者さんで遅発性脳症が起りやすいのかを明らかにすることを目的としています。

この研究により、一酸化炭素中毒の患者さんの中から、遅発性脳症を起こす可能性が高い方を早い段階で見つけることができるようになる可能性があります。将来的には、適切な治療や経過観察につなげることで、患者さんの後遺症を減らすことに役立つと考えています。

■ 研究対象となる方

2012年3月1日から2025年5月31日までの間に、当院救命救急センターに搬送され、「一酸化炭素中毒」の診断を受けた方が対象です。その中で、研究に必要な条件を満たす方をさらに抽出し、検討対象とします。

具体的には以下に該当する方を対象といたします。

- ① 2012年3月～2025年5月に福島県立医科大学附属病院救急外来を受診し、急性一酸化炭素中毒と診断された18歳以上の方
- ② 一酸化炭素暴露を示唆する明確な病歴がある方
- ③ 一酸化炭素中毒に矛盾しない症状（頭痛、めまい、意識障害など）がある、または血液検査で血中CO-Hb濃度が10%以上上昇していた方

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から、患者背景、一酸化炭素暴露源や暴露時間・暴露状況、入院中の臨床情報、検査結果、治療内容、治療後どのような転帰をたどられたか、などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年8月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学救急医療学講座であり、研究責任者は救急医療学講座 大山亜紗美です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学救急医療学講座で利用され解析が行われます。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

本研究では、他施設に試料・情報を提供することはありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされて

いる場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部救急医療学講座 担当：大山亜紗美

電話：024-547-1581 FAX：024-547-3399

e-mail：yu036asa@fmu.ac.jp